

2022年5月発行

茨木御堂
第283号

真宗大谷派

茨木別院
(輪番 高木 文善)〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

● 法語カレンダー 五月の法語

失ったものを数える人あり よえられたものに感謝する人あり

「失ったものを数える」というのは、失ったものをいつまでも元に戻したいと思っていること、つまりそのものに固執し執着することでしょう。執着の背景にあるものは、「名聞」(名誉や地位を欲しがる心)、「利養」(いつも損得を計算する心)、「勝地」(他人に自分を誇る競争心)であります。これは人間の感情が起こすと、いうレベルのものではなく、人間の心底から湧き出てくるものであって、自分でコントロールの出来るものではありません。執着も同じことであります。いわば自分の意志で執着できるものではありません。人間が本来持っているものであつて、何かに出会うこと(縁)によって湧き出てくるものであります。一方、「与えられたものに感謝する」とは文字通り感謝することであります。しかし、これも前者と同じように、心底から湧いてくるものであり、人間が本来持っているものであつて、何かに出会うこと(縁)によって湧き出てくるものであります。感謝しようとすると、意志だけでは本当の感謝は成り立ちません。そんなものはうわべや言葉だけに終わってしまいます。執着と感謝はいづれも人間の心底から湧き出てくるものであつて、この両者は相対す

るもののように見えるのですが、実は深い相関関係にあるのです。

そもそも感謝の出来る人とは、心の頭が低く低く下がり、心の姿勢が低く低くなる人のことがあります。つまりは固執し、執着している限り下がる頭や姿勢はどこにもありません。であればどうしたら感謝できる身を獲得できるのか。西洋のことわざに「覆水盆にかえらず」というのがあります。もう元には戻らないとわかっていますが、それでも、それを追い求めずにはおれないのが私たちです。かけがえのないものを失つたそこには大きな悲しみや苦悩が伴ってきます。それが私の苦悩の内面を探つてみると、先に申した、名聞・利養・勝地というくせものを背景としたものを、持つて離さない私の執着心が暴かれたところに、私の罪業性、つまり私の苦悩を引き起こしているのは私自身の心底にある執着心であったと暴かれたとき、その罪の深さの自覚において頭が下がる身となっていくのでしょうか。結果、このような頭が下がるということが無い限り「与えられたものに感謝する」ことが心底から湧き上がってくることはないのだと思います。

南無阿弥陀仏(輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 → ibarakibetsuin.or.jp
いばらき大谷学園 → ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

5月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(木)午後1時半より
会場 茨木別院会館
講師 加藤 恵氏

●本山九日講

日時 9日(月)午後2時より
会所 善勝寺
講師 茨木別院輪番

●永代経法要－お勤めと法話－

日時 23日(月)午後1時半より
24日(火) 午後3時頃まで
会場 茨木別院本堂
講師 墓林 浩氏
※23日(月)の永代経法要前より
茨木別院門徒会総会を開催します。

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日時 28日(土)午後1時半より
会場 茨木別院会館
講師 茨木別院輪番

6月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(日)午後1時半より
会場 茨木別院会館
講師 加藤 恵氏

●親鸞聖人御命日・婦人会例会

日時 28日(火)午後1時半より
会場 茨木別院会館
講師 茨木別院輪番



永代経法要にあたり、仏具のおみがきを行います。きれいに仏具をおみがきして、永代経法要をお迎えしたいと思います。皆様お誘い合わせの上たくさんの方々のご奉仕の参加をお待ちしております。

会場

茨木別院本堂

日時

五月十日「火」

午前十時より

おみがきのご案内



講題

「真宗門徒とお浄土」

講師

墓林 浩氏
大阪教区第二組 光照寺住職

会場

茨木別院本堂

日時

五月二十三日「月」
二十四日「火」

午後一時半より午後三時頃まで

永代経法要

－お勤めと法話－



入園・進級おめでとうございます

緊張や不安を和らげてくれる春風がそっと子どもたちを包み込むこの季節。今年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策をとりながら、健康を心掛けて元気に過ごしていきたいです。一人ひとりが自分の個性を発揮して、園生活を楽しめるように、日々の成長を職員一同、全力でサポートしていきたいと思います。至らない点もあるかと思いますが、ご理解・ご協力を願い申し上げます。



- | | |
|---------|--------|
| 10日・11日 | 内科検診 |
| 20日 | 避難訓練 |
| 25日 | 歯科検診 |
| 27日 | 交通安全指導 |



- | | |
|---------|-------|
| 14日～16日 | 保育参観 |
| 21日 | プール開き |
| 24日 | 避難訓練 |

※上記の行事予定は変更する場合があります。ご了承ください。

園庭開放のお知らせ

予約は不要ですが来園されたときに、入口にてお名前・連絡先の記入にご協力ください。

- | |
|------------------|
| 時間 10:00～11:00 |
| 5月 12日（木） 16日（月） |
| 26日（木） |
| 6月 2日（木） 10日（金） |
| 20日（月） 27日（月） |

*上記は予定ですので、園行事等によって変更する場合があります。

*雨天・園庭状態不良・
感染症発生時は中止です。

*誕生日とあそぼう会につきましては、
コロナウイルス感染拡大防止のため、
当面の間中止致します。





園長の一言

●自由保育と一斉保育

「自由保育」に対して「一斉保育」いう言葉があります。これは保育を形態の上から見た分類の仕方です。

この両者はいかにも対立するものと勘違いをする人があり、時によると保育論争の種にもなることがあります。保育は形態でとらえるべきではなく、質でとらえるべきであります。だから「自由保育」というのは、形態の一つであって、『幼児が真剣に求めているのは自由である』ということを、どれだけ尊重できるか、そしてそれを保育の上でどう実現できるかということであります。

これができるには、保育者も保護者も自由を求めている人間であることを、いつも自分の問題として、また社会の問題として、ずっと考え続ける保育者、もしくは保護者でなくではありません。このように考えていくと「一斉保育」は「自由保育」に対する反対語ではなく、あくまでも保育形態の違いであるということをお分かりいただけます。

人間は社会的存在ですから、いつもその時代とその地域（環境）から制約を受けて、その中で生きていかなければなりません。ある意味では束縛です。不自由で

す。でも、その中に自由を獲得していくことが、人間として生きていく課題であります。この点では幼児も大人も一緒です。

このような考えに基づいて、少し現場のこと目に目を向けてみます。園での活動の中で、①自分で自主的に自由に遊びを数多く選ぶことが出来る場合もあります。しかし、②園舎の構造・園庭の広さ・地域環境の事情・園児の数・保育者の人数・その年齢等々、多くの条件が総合された中で、保育者の指図に従つて皆と一緒に活動しなければ保育が成り立たない場合もあります。いずれの場合も保育の現場であり現実です。ここで大切なことは、たとい保育者の指図によつて保育が進められる（一斉保育）としても、指図そのものが悪いのではなく、そこに『幼児が真剣に求めているのは自由である』ということをどれだけ尊重しているかということであります。つまり、保育者からの指図（指導）が幼児の自由を求める意欲を根本的に破壊することだけは絶対に避けなければならないことであります。反対に何でもかんでも子どもに自由ばかり与えることは、幼児が自由を求める意欲の唯一の条件でもありません。

（次号に続く）



春季彼岸会

三月二十四日・二十五日、茨木別院にて春季彼岸会をお勤めしました。講師に、宮部渡師をお迎えして二日間で渡り、「本当のことがわからないと本でないものを本当にする」というテーマでお話しいただきました。

昨年同様、一部縮小ではありましたが、みなさんにお参りいただきました。今年度もこれからいくつかの法要をお勤めしていくこととなります。状況にもよりますが時機をみて是非お参り頂ければと思います。



須弥壇納骨のご案内

本堂須弥壇（ご本尊）の下に納骨壇を設けております、たくさんの方にご利用いただけます。ご案内いたします。

- 冥加金

茨木別院門徒・ご崇敬内門徒

七万円

十万円

その他

真宗大谷派に所属する
寺院・僧侶・門徒に限
らせていただきます。

*納骨時の儀式執行は別院が執行します。
*申込みについては、事前に別院事務所まで
お問い合わせ下さい。

☎〇七二一六一二一一九〇三

個別納骨（石版に法名を刻名）
●冥加金

三十二万五千円

（ 納骨冥加金 二十万円
永代管理費 十万円
刻 名 料 二万五千円 ）

合同納骨
●冥加金
五万円

●ご利用は浄土真宗に所属する寺院・僧侶・門徒に限らせていただきます。



合祀墓のご案内

茨木別院墓地敷地内に合祀墓を設けております。
納骨をお考えの方は一度ご連絡下さい。

茨木別院

事務所受付・閉門時間についてご案内

●事務所受付時間

〔平日〕九時～十七時

〔土・日・祝日〕〔基本〕

九時～十六時半

●閉門時間

〔平日・土〕十九時半頃
〔日・祝日〕十七時頃

*法務等で事務所が留守になつてゐる時間帯があります。ご用事がある場合には事前にご連絡いただき事務所が開いているかご確認の上ご来院お願いいたします。

●茨木別院事務所
☎○七二一六二二一九〇三

*月忌参り、法事等の申込については電話での連絡も受け付けております。
*須弥壇・合祀納骨の申込については、電話での対応も受け付けておりますが、それぞれ納骨予定日までに申込用紙を茨木別院まで取りに来ていただき提出いただく必要があります。
*土・日・祝日の対応について、時間帯によつて電話がつながらない場合がございます。

敬弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

●法名 釋尼寿徳
俗名 鈴木寿美子 九十八歳

●法名 釋尼明温
俗名 樋地温子 八十六歳

株式会社 花廣

茨木市大手町一二一八
☎○七二一六二二一四〇二二

—生花・供花・けいこ花—



四月から朝のお勤めの時間が七時から八時に変更になりました。会社への出勤前や朝のお散歩がてら等、お参りしやすい時間になりましたのでぜひお気軽に参りください。

岡崎 康祐



永代・経を迎えます。(永代供養ではございません。)ご先祖から代々受け継がれてきたお経・仏縁を、亡き人を偲びいたたく法会です。どうぞ、体調を第一に考慮していただきご自由に参詣いただければと思います。

墨林 尚顯



例年五月に、門徒のみなさんと仏具のおみがきをしています。昨年は、緊急事態宣言の影響もあり中止となりました。今年は、みなさんにお手伝いいただき開催できればと思います。ご参加お待ちしております。

竹内 明人

編集後記